

学会だより

◇ 会員の榮譽

佐藤和広会員が「日本農学賞・読売農学賞」を受賞

本会会員佐藤和広氏は「オオムギゲノム多様性の解析と分子育種への応用」の業績により、公益財団法人日本農学会から令和4年度「日本農学賞」を授与されました。日本農学賞は、農学上顕著な業績を挙げたものに対して日本農学会から贈られるものです。授与式ならびに受賞講演は令和4年4月5日（火）に東京大学伊藤謝恩ホールにおいて行われ、その模様はオンラインでも配信されました。

高木宏樹会員が「日本農学進歩賞」を受賞

本会会員の高木宏樹氏は「次世代シーケンサーを用いた効率的遺伝解析技術の開発と実用展開」の業績により、公益財団法人農学会から2021年度（第20回）の「日本農学進歩賞」を授与されました。日本農学進歩賞は、農学の進歩に顕著な貢献をした者に対して農学会から贈られるものです。授与式ならびに受賞講演は令和3年11月26日（金）に東京大学弥生講堂において行われました。

田中若奈会員が「科学技術分野の文部科学大臣表彰・若手科学者賞」を受賞

本会会員の田中若奈氏は「植物の分裂組織に関する分子発生遺伝学的研究」の業績により、令和4年度「科学技術分野の文部科学大臣表彰・若手科学者賞」を授与されました。文部科学大臣表彰は、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術の水準の向上に寄与することを目的として、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者を表彰するものです。

◇ 臨時代議員会議事録

日時：2021年12月24日（金）午後6時～午後7時

場所：オンライン開催

（理事・運営委員・監事）

出席者：加藤鎌司，中園幹生*，吉岡洋輔，西田英隆，井澤毅，津釜大輔，畠山勝徳*，小野寺康之，横井修司*，草場信*，久保貴彦*，加賀秋人，辻寛之，久保山勉，川浦香奈子，風間智彦，門田有希，堤伸浩*，山本敏央
【19名】

欠席者：大澤良，岩田洋佳，高橋秀和*，山根京子*，那須田周平【5名】

（代議員）

出席者：貴島祐治，高牟禮逸朗，加藤清明，北柴大泰，畠山勝徳*，赤木宏守，笹沼恒男，石本政男，宇賀優作，江面浩，江花薫子，吉田均，米丸淳一，福岡修一，新倉聡，佐藤正紀，井藤純，木下哲，高野哲夫，堤伸浩*，矢野健太郎，三浦孝太郎，掛田克行，中園幹生*，富田因則，半田裕一，横井修司*，築山拓司，佐藤和広，草場信*，久保貴彦*，藤田大輔，緒方大輔【33名】

委任状（議決権行使）：金澤章，高橋秀和*，房相佑，山根京子*，清水顕史，田中裕之【6名】

欠席者：松田靖【1名】

（*上記の役員・委員と代議員を兼任）

議長：理事（副会長・加藤鎌司）

議事録：運営委員（総務第二・西田英隆）

出席代議員数は代議員会の定足数を満たしていた。

1. 報告事項

（ア）令和3年度残余期間の会長・副会長臨時意向投票の結果報告

臨時代議員会の開催に至るまでの経緯について説明があった。続いて、理事欠員に備えた会長・副会長臨時意向投票（それぞれ12月10日～15日，12月15日～20日に実施）の結果が報告された。

2. 審議事項

（ア）特別決議議案：理事（1名）の退任について

大澤良代表理事（会長）から12月24日付で辞任の申し出があり、投票の結果、全代議員の3分の2以上の賛成票を得て承認された。

（イ）通常決議議案：令和3年度残余期間の会長・副会長臨時意向投票結果について

報告事項（ア）の投票結果をもって、内規C.11)に定められている会長の欠員を生じた場合の意向投票結果とすることが提案された。投票の結果、代議員出席者の3分の2以上の賛成票を得て承認された。

（ウ）特別決議議案：令和3年度残余期間の会長の選任について

投票の結果、全代議員の3分の2以上の賛成票を得て、令和3年度残余期間の会長が選任された。

代表理事（会長） 加藤鎌司 岡山大学

（エ）特別決議議案：令和3年度残余期間の副会長の選任について

投票の結果、全代議員の3分の2以上の賛成票を得て、令和3年度残余期間の副会長が選任された。

理事（副会長） 中園幹生 名古屋大学

3. その他

(ア) 各種委員について

加藤新会長、中園新副会長がこれまでに担当していた各種委員について質問があった。加藤新会長は学会賞等選考委員長、中園新副会長は幹事長と男女共同参画推進委員長を引き続き担当（兼任）し、日本農学会関連評議員については大澤前会長の退任に伴う欠員に対応して中園新副会長が就任する意向であるとの説明があり、審議の結果、今回の特例的な運用について承認された。

(イ) 定款、内規について

理事の辞任に関する手続き等、定款および内規で十分に定められていない項目について、今後の改善を求める要望があった。

◇ 令和4年度第1回運営委員会議事録

日時：2022年2月20日（日）14:00～17:30

場所：オンライン開催

出席者：加藤鎌司、中園幹生、吉岡洋輔、西田英隆、井澤毅、岩田洋佳、津釜大侑、畠山勝徳、小野寺康之、山根京子、横井修司、久保貴彦、加賀秋人、辻寛之、寺石政義、久保山勉、川浦香奈子、門田有希【18名】

欠席者：高橋秀和、草場信、那須田周平、風間智彦【4名】

各運営委員からの活動経過報告の後、以下の事項について審議された。

- ①石原（志方）守一奨学金受賞者の選考（総務）
- ②代議員会に関する定款の変更（総務）
- ③令和4年度予算案（会計）
- ④和文誌のBS要旨和訳廃止（英文誌）
- ⑤今後の特集号・レビュー（英文誌）
- ⑥編集体制（編集事務局の構成と任期）（和文誌）
- ⑦記者発表関連スケジュールの前倒し（記者発表）
- ⑧学会員のプレスリリースや記者会見の支援（記者発表）
- ⑨遺伝子組換え作物に関するプレスリリース（LMO・ABS委員会）

◇ 第13回代議員会議事録

日時：2022年3月5日（土）午後2時～6時10分

場所：オンライン開催

（理事・運営委員・監事・各種委員）

出席者：加藤鎌司、中園幹生*、吉岡洋輔、西田英隆、井澤毅、岩田洋佳、津釜大侑、畠山勝徳*、小野寺康之、高橋秀和*、横井修司*、草場信*、久保貴彦*、久保山勉、川浦香奈子、加賀秋人、辻寛之、寺石政義、門田有希、久保友彦、富田因則*、経塚淳子【22名】

欠席者：山根京子*、那須田周平、風間智彦【3名】

（令和2・3年度代議員）

出席者：貴島祐治、金澤章、加藤清明、高牟禮逸朗、北柴大泰、畠山勝徳*、笹沼恒男、高橋秀和*、宇賀優作、江面浩、吉田均、福岡修一、新倉聡、佐藤正紀、井藤純、木下哲、高野哲夫、堤伸浩、矢野健太郎、三浦孝太郎、掛田克行、中園幹生*、富田因則*、横井修司*、築山拓司、清水顕史、佐藤和広、草場信*、久保貴彦*、藤田大輔、緒方大輔、松田靖【32名】

委任状（議決権行使）：赤木宏守、石本政男、江花薫子、米丸淳一、房相佑、山根京子*、半田裕一、田中裕之【8名】

（*役員・委員と代議員を兼任）

（令和4・5年度代議員）

出席者：久保友彦、大西一光、貴島祐治、金澤章、阿部陽、北柴大泰、田中克典、深井英吾、宇賀優作、福岡修一、石井卓朗、吉田均、久保山勉、渡邊和男、加賀秋人、中村郁郎、佐藤正紀、井澤毅、有村慎一、岩田洋佳、辻寛之、伊藤純一、犬飼義明、村井耕二、掛田克行、佐塚隆志、古川一実、清水顕史、中崎鉄也、草場信、辻本壽、山本敏央、藤田大輔、松田靖、山形悦透、緒方大輔【36名】

欠席者：赤木宏守、江花薫子、佐藤豊（遺伝研）、那須田周平、半田裕一【5名】

議長：代表理事（会長・加藤鎌司）

議事録：運営委員（総務第二・西田英隆）

出席者数は代議員会の定足数を満たしていた。

1. 報告事項

(ア) 令和4・5年度代議員選挙結果

(イ) 令和4・5年度会長・副会長暫定候補者意向投票結果

(ウ) 令和4年度学会賞等選考委員候補者意向投票結果

(エ) 令和4・5年度運営委員の選出経過

(オ) 運営委員会報告

総務：会員数、学会誌発行部数、Webサイト更新回数、メールニュース配信回数、シニア会費制度利用申請（2件）の承認、契約、共催・協賛・後援、会議開催予定、Webサイトのリニューアル、日本育種学会賞・奨励賞の賞状・副賞の授与、事業監査報告、石原（志方）守一奨学金授与者の選出

科研費：国際情報発信強化（BS科研費）、研究成果公開発表（シンポ科研）

会計：2021年度決算報告

編集（英文誌）：編集状況、特集号・企画総説の進捗状況、BSのOA化に向けたWG発足、編集委員の退任

編集（和文誌）：編集状況、和文誌編集幹事の構成と任期

集会：2022年春季大会、今後の大会開催予定

農学会：2022年度日本農学賞・読売農学賞、2022年度日本農学会シンポジウム

記者発表：第141回講演会記者発表、記者発表対象課

題, 記者発表希望演題数, 記者発表の調整・開催方法, 記者発表担当の役割

LMO・ABS : LMO に関する提言 (案)

地域 : 各地域の活動報告

(カ) 令和3年度事業報告

(キ) 令和3年度事業・会計監査結果の報告

2. 審議事項

(ア) 特別決議議案 : 役員 (理事2名及び監事2名) の解任について

投票の結果, 総代議員の議決権の3分の2以上の賛成票を得て承認された。これにより理事2名および監事2名が解任された。

(イ) 特別決議議案 : 次期会長 (代表理事) の選任について

投票の結果, 総代議員の議決権の3分の2以上の賛成票を得て, 次期会長が選任された。

代表理事 (会長) 加藤鎌司 岡山大学

(ウ) 特別決議議案 : 次期副会長 (理事) の選任について

投票の結果, 総代議員の議決権の3分の2以上の賛成票を得て, 次期副会長が選任された。

理事 (副会長) 中園幹生 名古屋大学

(エ) 特別決議議案 : 次期監事の選任について

投票の結果, 総代議員の議決権の3分の2以上の賛成票を得て, 次期監事が選任された。

監事 奥本裕 摂南大学

監事 久保山勉 茨城大学

(オ) 通常決議議案 : 令和4年度学会賞等選考委員 (6名) について

審議の結果, 下記の6名が選出された。
辻本壽, 井澤毅, 貴島祐治, 佐藤豊 (遺伝研), 草場信, 福岡修一

(カ) 通常決議議案 : 令和4・5年度シンポジウム委員 (5名) について

現・次期代議員による意向投票で下記5名の候補が選出され, 審議の結果, 承認された。

岩田洋佳, 宇賀優作, 伊藤純一, 犬飼義明, 畠山勝徳

(キ) 通常決議議案 : 令和4・5年度のその他委員等の選出

審議の結果, 下記の5名が選出された。

男女共同参画推進委員会委員長 佐々英徳 千葉大学

LMO・ABS 委員会委員長 渡邊和男 筑波大学

日本農学会関連評議員 加藤鎌司 岡山大学

日本農学会関連評議員 中園幹生 名古屋大学

日本農学会運営委員 岩田洋佳 東京大学

※男女共同参画推進委員会, LMO・ABS 委員会, 男女共同参画学協会連絡会の委員は, 各委員長と三役で検討・選任する。

(ク) 特別決議議案 : 代議員会に関する定款の変更

電磁的方法による代議員会の招集には代議員の事前承

諾が必要と法律で定められており, これを受けて第15条3の修正が提案された。投票の結果, 総代議員の議決権の3分の2以上の賛成票を得て承認された。

(ケ) 通常決議議案 : 令和4年度予算案について

予算案について審議の結果, 原案通り承認された。

(コ) 通常決議議案 : 和文誌のBS要旨和訳廃止, 特集号・レビュー (編集)

オンライン翻訳サービスの充実と和文誌編集幹事の負担軽減を踏まえ, BS掲載論文の要旨和訳を廃止することが提案され, 審議の結果, 承認された。

(サ) 通常決議議案 : その他

無し。

3. その他

(ア) 関連報告

①学会賞等選考委員会

日本農学賞・読売農学賞, 日本育種学会賞・奨励賞について推薦依頼があった。

②シンポジウム委員会

第142回講演会 (秋季大会) におけるシンポジウム・ワークショップの予定について報告があった。

③男女共同参画推進委員会

第140回講演会 (秋季大会) でのランチタイムセミナー開催とアンケート結果のWebサイト掲載, 第142回講演会 (秋季大会) におけるランチタイムセミナー (ハラスメントに関する講演) の検討について報告があった。

④日本学術会議育種分科会委員

育種学将来構想委員会の活動, 学術会議カーボンニュートラル連絡会議への参画, 次期学術会議会員の選出方法について報告があった。また, 日本学術会議では分野横断的な中長期的課題に対して期をまたぎ継続的に取り組む会員候補者の選考を検討していることを受け, 経塚委員から学術会議に対して各分野の代表として会員を選出することの重要性を伝えたい旨の発言があった。

⑤公益財団法人農学会農学教育推進委員会委員

農学系一般分野及び関連のエンジニアリング分野におけるプログラム審査について一昨年度からの継続審査6件を実施したこと, JABEE認定プログラムを修了し技術士第二次試験を受験した者の合格者数と合格率が上昇傾向であること, 水産分野を除く農学系のJABEE認定プログラム履修者が減少傾向であることが報告された。

(イ) その他

総務 : 次期代議員に対して第141回講演会における優秀発表賞の投票依頼があった。

代議員 : 「育種学最近の進歩」のアーカイブ化, プレスリリースのサポート, SNS利用, 会員数減少, 遺伝学用語に関する情報提供及び議論があった。

◇ 令和3年日本育種学会賞・奨励賞賞状および副賞の授与について

新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年日本育種学会賞・奨励賞の授与式が中止になったため、受賞者に賞状および副賞を郵送でお送りしました。



日本育種学会賞（第148号） 佐々英徳氏



日本育種学会賞（第149号） 農研機構・作物研究部門「難裂英性ダイズ品種群」育成グループ（代表者：羽鹿牧太氏）



日本育種学会賞（第150号） 愛知県農業総合試験場小麦品種「きぬあかり」育成グループ（代表者：吉田朋史氏）左から、藤井潔氏、吉田朋史氏、辻孝子氏



日本育種学会奨励賞（第63号） 永井啓祐氏



日本育種学会奨励賞（第64号） 石井孝佳氏

◇ 第 141 回講演会選定課題記者発表報告

発表日時：令和 4 年 3 月 16 日（水）13:00～14:30

発表場所：オンライン開催

出席者：中園幹生（幹事長）、津釜大侑（記者発表担当運営委員）、白澤健太（課題 1）、三木双葉（課題 1）、品田博史（課題 2）、角井宏行（課題 3）、森口喜成（課題 3）、赤木剛士（課題 4）

参加報道機関：朝日新聞社、中日新聞社（東京新聞）、毎日新聞社、NHK、時事通信社、化学工業日報社、科学新聞社、TBS テレビの計 8 社・9 名

オブザーバー参加機関：千葉県商工労働部産業振興課の 1 機関・1 名

令和 4 年 3 月 20 日（日）、21 日（月）にオンラインで開催される日本育種学会第 141 回講演会の講演課題（計 187 課題）の中から運営委員会によって選定された以下の 4 課題について、記者会見を実施した。

発表タイトル（記者発表）：

- (1) ゲノム解析で解き明かすソメイヨシノのルーツ ～全国のソメイヨシノの源流が上野恩賜公園に～
- (2) 馬鈴しょ新品種「ゆめいころ」の紹介 ～目が浅くて病害虫に強い早生の生食用馬鈴しょ新品種～
- (3) 無花粉スギ原因遺伝子の特定に成功 ～スギゲノム 100 億塩基のわずか 1 塩基の違いが無花粉スギの原因であることを発見 無花粉スギの効率的な選抜・育種に光明～
- (4) 植物におけるオス・メス個体のバランスを決める仕組みを解明

講演タイトル（第 141 回講演会）：

- (1) 講演番号 103 「ゲノム解析で解き明かすサクラ品種「ソメイヨシノ」のルーツ」白澤健太¹、江角智也²、板井章浩³、畠山勝徳⁴、高品善⁵、八鍬拓司⁶、住友克彦⁷、黒倉健⁸、深井英吾⁹、佐藤慶一¹⁰、島田武彦¹¹、白武勝裕¹²、細川宗孝¹³、門田有希¹⁴、草場信¹⁵、池上秀利¹⁶、磯部祥子（1. かずさ DNA 研、2. 島大院農、3. 京府大生命科学、4. 岩大農、5. 山形農総研セ園研、6. 山形西高、7. 農研機構野花研、8. 宇大農、9. 新大農、10. 山梨甲府南高、11. 農研機構果茶研、12. 名大院生命農、13. 近大農、14. 岡大農、15. 広大統合生命科学、16. 福岡県）
- (2) 講演番号 224 「馬鈴しょ新品種「ゆめいころ」の育成」品田博史¹、藤田涼平¹、松永浩¹、和崎俊文¹、大波正寿²、青山聡³、江部成彦⁴、池谷聡¹、萩原誠司²、中山輝⁵、鈴木千賀²、田村元⁴、相馬ちひろ⁴、池田幸子³、小野寺鶴将¹（1. 道総研北見農業試験場、2. 道総研十勝農業試験場、3. 道総研道南農業試験場、4. 道総研中央農業試験場、5. 新潟市役所）
- (3) 講演番号 322 「無花粉スギ MS4 の原因は *CjTKPRI* の 1 塩基置換変異である」角井宏行¹、伊原徳子²、長谷川陽一²、釣崎恵里子¹、二村典宏²、岩井淳治³、樋口

有未³、藤野健⁴、鈴木穰⁴、笠原雅弘⁴、山口勝司⁵、重信秀治⁵、大谷真広⁶、中野優⁶、上野真義²、森口喜成¹（1. 新潟大院・自然科学、2. 森林総研、3. 新潟県・森林研、4. 東大院・新領域、5. 基生研、6. 新潟大・農）
 (4) 講演番号 324 「カキ属の性染色体ランダム不活化から生じる配偶子接合後の性比異常」赤木剛士^{1,2}、菅野茂雄³、Deborah Charlesworth⁴、Luca Comai⁵、Isabelle Henry⁵（1. 岡山大・院環境生命科学、2. JST さきがけ、3. 産総研・生物プロセス、4. エディンバラ大・進化生物学、5. カリフォルニア大デービス・ゲノムセンター）
 記者発表の報告：

中園が諸注意を述べた後、それぞれの課題の発表者がレジュメを用いて発表内容について自ら説明し、質疑応答を行った。記者会見後、講演番号 103 に関する記事が、TBS NEWS DIG、毎日新聞（以上、3/16）、NHK NEWS WEB（3/17）、毎日小学生新聞（3/18）、ナゾロジー（3/21）、TechCrunch Japan（3/22）、マイナビニュース、読売新聞、新千葉新聞（以上、3/25）、東京新聞（3/27）、The Japan News（3/29）、日本農業新聞（3/30）、河北新報（4/2）、サイカル journal（4/22）に掲載された。また、同講演に関する話題が、TBS ラジオ「安住紳一郎の日曜天国」（3/20）、日本テレビ「news every.」（3/21）、Tokyo FM「ONE MORNING」（3/22）、NHK「おはよう日本」（5/2）において放送された。また、講演番号 322 に関する記事が、朝日新聞（3/23）、朝日新聞アピタル（4/5）、読売新聞（4/24）に掲載された。また、講演番号 324 に関する記事が科学新聞（4/1）に掲載された。

◇ 石原（志方）守一奨学金受賞報告

運営委員会で審議の結果、以下の 4 名の優秀発表賞受賞者を令和 3 年度の石原（志方）守一奨学金受賞者と決定した。

【第 139 回大会】

講演番号 201：河合翼（名大・院・生命農学）

講演番号 415：若林妙恵（帯広畜産大）

【第 140 回大会】

講演番号 119：中里一星（東京大・院・農学生命科学）

講演番号 217：望月秀斗（東京大・院・農学生命科学）

◇ 第 141 回講演会日本育種学会優秀発表賞報告

2022 年日本育種学会春季大会（第 141 回講演会）における日本育種学会優秀発表賞が下記の 9 演題に決定された。

講演番号 101：NGS データを用いたプライマー設計ツール「V-primer」の開発とその応用

☆夏目俊、及川香梨、伊藤和江、宇津志博恵、清水元樹、阿部陽（公益財団法人岩手生物学研究センター）

講演番号 305：UAV リモートセンシングによる高収量

性ソルガムのバイオマス推定技術の開発

☆中田智大¹, 井上駿¹, 佐塚隆志², 西内俊策¹ (1. 名大・院生命農学, 2. 名大・生物機能開発利用研究センター)

講演番号 317: 他殖性作物の多系交雑集団にも対応した遺伝子型データエラー修正ツール「GBScleanR」の開発
☆古田智敬¹, 芦荻基行², 山本敏央¹ (1. 岡山大学・資源植物科学研究所, 2. 名古屋大学・生物機能開発利用研究センター)

講演番号 322: 無花粉スギ *MS4* の原因は *CjTKPRI* の 1塩基置換変異である

☆角井宏行¹, 伊原徳子², 長谷川陽一², 釣崎恵里子¹, 二村典宏², 岩井淳治³, 樋口有未³, 藤野健⁴, 鈴木稜⁴, 笠原雅弘⁴, 山口勝司⁵, 重信秀治⁵, 大谷真広⁶, 中野優⁶, 上野真義², 森口喜成¹ (1. 新潟大院・自然科学, 2. 森林総研, 3. 新潟県・森林研, 4. 東大院・新領域, 5. 基生研, 6. 新潟大・農)

講演番号 401: フロリゲンの茎頂メリステムライブイメージングによる細胞間移行と濃度勾配形成の解析
☆中村珠里, 田中真理, 辻寛之 (横浜市大・木原生物学研究所)

講演番号 402: フロリゲンとサイトカイニン, オーキシン情報伝達の1細胞解像度3Dイメージングで明らかにするイネの成長相転換

☆佐藤萌子¹, 坂本勇貴², 田中真理¹, 井藤純¹, 田岡健一郎¹, 三上雅史³, 遠藤真咲³, 北野英己⁴, 松永幸大⁵, 辻寛之¹ (1. 横浜市大・木原生物学研究所, 2. 大阪大・院理・生物科学, 3. 農研機構・生物研, 4. 名古屋大・生物機能開発利用研究センター, 5. 東京大・院・新領域)

講演番号 510: Fertilization controls tiller numbers via transcriptional regulation of a *MAX1-like* gene in rice cultivation
☆Cui, J.¹, N.Nishide¹, K. Kuroha², K. Sugimoto², T. Izawa¹ (1. Fac. Agric. Univ. Tokyo, 2. Inst. Crop Sci. NARO)

講演番号 523: イネ強稈性を制御する遺伝子 *qGFI* の同定および機能解析

☆縣歩美^{1,2}, 石原亮太², 黒羽剛³, 西谷和彦⁴, 佐藤豊¹, 榊原均^{2,5}, 芦荻基行⁶, 北野英己⁶, 保浦徳昇⁶ (1. 国立遺伝学研究所, 2. 名大院生命農学, 3. 農研機構・生物研, 4. 神奈川大学, 5. 理化学研究所, 6. 名大生物機能開発利用研究センター)

講演番号 P052-A: 北海道のイネ品種間の交雑後代で見いだされた雑種崩壊遺伝子 *THB1* の「ゆきひかり」型アレルはレアである

☆若林妙恵, 加藤清明 (帯広畜産大学)

◇ 地域談話会だより

<北海道地区>

令和3年度 日本育種学会北海道談話会年次講演会,

総会および公開シンポジウム (日本作物学会北海道支部会と共催) が2021年12月4日 (土) にオンラインで開催された。さらに, 一般講演49課題から優秀発表賞2件および奨励賞4件として, 以下の課題が審査に基づいて選出された。

優秀発表賞

1. 環境応答性を示すテンサイ CMS 個体が保持する *Rfl* 対立遺伝子の特徴づけ

松井克憲・北崎一義・久保友彦 (北大院農)

2. アフリカ栽培種 *O. glaberrima* における雑種不稔遺伝子座 *SI* の進化的特異性の検討

山口圭太¹・小出陽平¹・山形悦透²・古田智敬³・貴島祐治¹ (1. 北大院農, 2. 九州大, 3. 岡山大)

奨励賞

1. 北海道水稲品種の育苗期における低温順化処理が移植後の生育に与える影響

西辻幸介¹・椛澤朋之¹・陳一洋¹・堀越瑞貴²・中島大賢¹・市川伸次³・角田貴敬³・柏木純一¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大FSC)

2. アズキ品種「しゅまり」を遺伝的背景としたブータン在来品種 *Acc2265* の染色体部分置換系統を用いた収量関連形質の評価

高光明佳¹・堀内優貴²・村山真也¹・岡大晴¹・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)

3. 極小粒ダイズ遺伝資源の特性再評価

五十嵐秀成・小林聡 (十勝農試)

4. ダイズ品種「ゆきぴりか」の *Twin row* 栽培が生育, 収量および受光態勢に及ぼす影響

松井俊樹・飛谷淳一・義平大樹 (酪農大)

(1) 一般講演 2021年12月4日 (土) 9:00 ~ 12:25
オンライン開催

1. 北海道におけるイネ初冬直播き栽培の現状

下野裕之¹・鈴木健策¹・柏木純一²・中島大賢²・林怜史³ (1. 岩手大, 2. 北大, 3. 北農研)

2. イネ初冬直播き栽培の出芽率に品種と採種地が及ぼす影響

及川誠司・下野裕之 (岩手大)

3. 土壌に埋設したイネ種子の越冬後の生存率と気象および土壌環境との関係

牛木純 (北農研)

4. 北海道水稲品種の育苗期における低温順化処理が移植後の生育に与える影響

西辻幸介¹・椛澤朋之¹・陳一洋¹・堀越瑞貴²・中島大賢¹・市川伸次³・角田貴敬³・柏木純一¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大FSC)

5. 2021年の高温・干ばつが北海道の加工用馬鈴薯収量に及ぼした影響

柳沢朗・荒木宏通・住ノ江努 (カルビーポテト)

6. 本年の十勝農試作況における金時類低収要因について

萩原誠司・中川浩輔・山口直矢（十勝農試）

7. 高温および干ばつ条件下における精密なフィールド試験のための UAV およびマルチスペクトルセンサーの活用

細川優介・長澤秀高・山口直矢（十勝農試）

8. 子実用トウモロコシに対する追肥および緩効性肥料の増収効果—気象条件が異なる2カ年試験の年次間比較—

松井康眞¹・山口寛登¹・河野龍悟¹・市川伸次²・竹村紘³・柏木純一¹・山田敏彦²・中島大賢¹（1. 北大院農, 2. 北大FSC, 3. ホクレン）

9. 群落構造と窒素分配から見た北海道水稲品種における多収要因の解析

椛澤朋之¹・西辻幸介¹・陳一洋¹・堀越瑞貴²・西村努³・佐藤博一³・中島大賢¹・市川伸次⁴・柏木純一¹（1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 中央農試, 4. 北大FSC）

10. 北海道水稲に導入したいもち病圃場抵抗性遺伝子 *Pi63* の効果

山下陽子¹・佐藤博一¹・漆畑裕次郎²・西村努¹（1. 中央農試, 2. 花野セ）

11. 2021年オホーツク地域におけるコムギ縞萎縮病多発生下の秋まき小麦品種「きたほなみ」栽培の追肥効果
田中一生¹・酒井治¹・上堀孝之²（1. 北見農試, 2. 道農政部）

12. バレイショ培養体および人工汚染土を用いたそうか病の室内抵抗性検定法

忠村一毅・福田朋彦・吉田直人・三上晃一郎（ホクレン）

13. テンサイ黄化病抵抗性に関する研究1：コアコレクションにおける系統変異

黒田洋輔¹・松平洋明¹・成廣翼¹・佐野正和¹・北崎一義²・久保友彦²（1. 北農研, 2. 北大院農）

14. テンサイ黄化病抵抗性に関する研究2：マーカー支援選抜を利用した種子親系統育成の試み

松平洋明¹・成廣翼¹・佐野正和¹・北崎一義²・久保友彦²・黒田洋輔¹（1. 北農研, 2. 北大院農）

15. テンサイ黄化病に関する研究3：花粉親系統, 3系交配系統の評価

成廣翼¹・松平洋明¹・佐野正和¹・北崎一義²・久保友彦²・黒田洋輔¹（1. 北農研, 2. 北大院農）

16. 環境応答性を示すテンサイCMS個体が保持する *Rf1* 対立遺伝子の特徴づけ

松井克憲・北崎一義・久保友彦（北大院農）

17. イネの雑種崩壊遺伝子 *tb1Y* の地理的分布

若林妙恵・加藤清明（帯畜大）

18. 「ゆきひかり」と「きらら397」に至るイネ品種における雑種崩壊遺伝子 *tb1* と *tb2* の遺伝子型解析

西村麟太郎・若林妙恵・加藤清明（帯畜大）

19. イネ野生種と栽培種の稈の角度動態における *PROG1*, *TAC1* 遺伝子の効果

大町美空¹・徳山芳樹²・大西一光³・石井尊生⁴・貴島祐治⁵・小出陽平⁵（1. 北大農, 2. 北大院農, 3. 帯畜大, 4. 神戸大, 5. 北大院農）

20. 北海道イネ系統の登熟期低温によって発生する胴切米の遺伝的比較解析

斉藤涼介・Chengfang Zhan・山森晃一・小出陽平・貴島祐治（北大院農）

21. イネ薬培養前低温処理における薬エピゲノム変化の解析

星咲良¹・蓑内ゆい¹・山森晃一¹・金岡義高¹・小出陽平¹・金鐘明²・貴島祐治¹（1. 北大院農, 2. 東大院農）

22. アフリカ栽培稲 *O. glaberrima* における雑種不稔遺伝子座 *SI* の進化的特異性の検討

山口圭太¹・小出陽平¹・山形悦透²・古田智敬³・貴島祐治¹（1. 北大院農, 2. 九州大, 3. 岡山大）

23. アフリカイネの幼苗期葉身長に関するゲノムワイド関連解析

井口こころ¹・小出陽平²・山形悦透³・藤田大輔⁴・貴島祐治²（1. 北大, 2. 北大院農, 3. 九州大, 4. 佐賀大）

24. 北海道水稲品種のガンマー線照射によって誘発した粒大変異体の遺伝解析—小穂の細胞数と大きさの比較—
平野翔也¹・Joseph Enoch Garcon²・高橋奈那¹・川原千佳¹・高牟禮逸朗^{2,3}（1. 北大農, 2. 北大院国際食資源, 3. 北大院農）

25. 育種事業にゲノミックセレクションを導入できるか？—ダイズの収量性を例に—

山口直矢¹・関根大輔²・加賀秋人³（1. 十勝農試, 2. 野花研, 3. 作物研）

26. 北海道で発生したコムギなまぐさ黒穂病抵抗性に関する「Blizzard」由来の7DS領域

道満剛平¹・堀川謙太郎²・来嶋正朋^{2,3}・相馬ちひろ¹・神野裕信^{4,5}・大西志全⁴（1. 中央農試, 2. 上川農試, 3. 十勝農試, 4. 北見農試, 5. 農研本部）

27. 赤さび病抵抗性遺伝子 *Lr34* を導入した「きたほなみ」戻し交配系統における耐病性と農業形質

佐藤優美¹・佐藤三佳子²・神野裕信^{1,3}・相馬ちひろ²・鈴木千賀^{2,4}・林和希^{1,2}・鈴木孝子²・其田達也¹・木内均¹・大西志全¹・荒木和哉¹（1. 北見農試, 2. 中央農試, 3. 農研本部, 4. 十勝農試）

28. 春まき小麦育種の穂発芽選抜における Selected Bulk 法の導入と効果検証

林和希¹・足利奈奈¹・来嶋正朋^{1,2}・森田耕一^{1,3}・大西志全¹・荒木和哉¹（1. 北見農試, 2. 十勝農試, 3. 上川農試）

29. アズキ品種「しゅまり」を遺伝的背景とする染色体部分置換系統を用いたプータン在来品種 Acc2265 に由来する開花期 QTLs のマッピング

岡大晴¹・堀内優貴²・加藤清明¹（1. 帯畜大, 2. 十勝農試）

30. アズキ品種「しゅまり」を遺伝的背景としたプータ

- ン在来品種 Acc2265 の染色体部分置換系統を用いた収量関連形質の評価
 高光明佳¹・堀内優貴²・岡大晴¹・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)
31. アズキの種皮色遺伝子の分子マッピング
 村山真也¹・堀内優貴²・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)
32. Identifying QTLs controlling flowering and maturity time in adzuki bean (*Vigna angularis*)
 Modester Kachapila¹・堀内優貴²・吉田透¹・加藤清明¹・森正彦¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)
33. 異なる stay-green 変異の集積による高クロロフィル含量ダイズの作出
 長谷彩花・中野春菜・阿部純・山田哲也 (北大農)
34. 極小粒ダイズ遺伝資源の特性再評価
 五十嵐秀成・小林聡 (十勝農試)
35. 主要農作物等の種子情報を可視化する Web-DB システム
 田中義則・植野玲一郎・佐藤仁・吉村徹・千田圭一 (中央農試)
36. ダイズ品種に対する千鳥播および狭畦栽培が生育、収量に及ぼす影響—茎伸育性の異なる品種間の比較—
 神村祐大・平栗裕大・松井俊樹・飛谷淳一・義平大樹 (酪農大)
37. ダイズ品種「ユキホマレ」および「ユキシズカ」における千鳥播および狭畦栽培が生育、収量に及ぼす影響—増収効果および栽植密度反応の品種間差異—
 平栗裕大・神村祐大・松井俊樹・飛谷淳一・義平大樹 (酪農大)
38. ダイズ品種「ゆきぴりか」の Twin row 栽培が生育、収量および受光態勢に及ぼす影響
 松井俊樹・飛谷淳一・義平大樹 (酪農大)
39. アズキに対する千鳥播栽培が生育・収量に及ぼす影響—「しゅまり」と「トヨミダイナゴン」の品種間差異—
 義平大樹・松井俊樹・飛谷淳一 (酪農大)
40. 播種時期、播種量、稈伸長抑制剤、施肥配分が長稈性秋播性ライムギの子実収量および倒伏に及ぼす影響
 杉之内樹¹・秋本正博²・義平大樹¹ (1. 酪農大, 2. 帯畜大)
41. 秋播性ライコムギの二期作栽培～北海道中央部における粗飼料および子実生産の年次間差異を含めた評価～
 岡本成¹・義平大樹¹・秋本正博² (1. 酪農大, 2. 帯畜大)
42. く溶性ホウ素肥料の施用が道央地域における子実用トウモロコシの生育および子実収量に及ぼす影響
 奥晴希¹・澤田壮太¹・北島拓也²・義平大樹¹ (1. 酪農大, 2. TOMATEC)
43. 鉄・亜鉛の施用が道央地域におけるアズキの子実収量および子実の鉄・亜鉛成分含量に及ぼす影響

- 宮崎愛莉¹・北島拓也²・義平大樹¹ (1. 酪農大, 2. TOMATEC)
44. 鉄・亜鉛の施用が道央地域におけるインゲンマメ(金時類, 手亡類)の子実収量および子実の鉄・亜鉛成分含量に及ぼす影響
 北島拓也¹・宮崎愛莉²・義平大樹² (1. TOMATEC, 2. 酪農大)
45. 干ばつと高温ストレスに誘起されたバレイショ塊茎収量の変化および心土層根長との関係
 岩間和人 (北大)
46. 水田センサー「PadyWatch」の活用による冷害防止のための深水管理の実態評価
 田中英彦・前川伊織・瀬戸拓真 (拓殖短大)
47. 深川市における 2021 年畑作物の生育・収量についての一考察 (第 1 報) 実習圃場におけるダイズ・ショウズ・ソバの収量
 松久晃治郎・河井虎之介・二木浩志・大道雅之 (拓殖短大)
48. 深川市における 2021 年畑作物の生育・収量についての一考察 (第 2 報) 実習圃場におけるダイズ・ショウズ・ソバの着莢状況と豆類の再現試験
 河井虎之介・松久晃治郎・二木浩志・大道雅之 (拓殖短大)
49. ヒヨコマメのポット栽培における灌水量と窒素施肥量が収量に与える影響
 三森鈴花・大道雅之 (拓殖短大)

(2) シンポジウム

日時：令和 3 年 12 月 4 日 (土) 14:00~17:00

総合司会：黒田洋輔 氏 (北海道農業研究センター)

I 北海道畑作における課題・展望 辻博之 氏 (北海道農業研究センター)

II 育種技術開発

1) 品種開発 黒田洋輔 氏 (北海道農業研究センター)

2) 細胞質雄性不稔性とゲノム 北崎一義 氏 (北海道大学大学院農学研究院)

III 栽培技術開発

1) 直播栽培適性 池谷聡 氏 (北見農業試験場)

2) 狭畦直播栽培適性 松平洋明 氏 (北海道農業研究センター)

3) 除草剤抵抗性 大竹勝 氏 (日本甜菜製糖株式会社)

IV 生産現場—てん菜に対する JA つべつの取り組みについて— 有岡敏也 氏 (JA つべつ)

V 総合討論

〈東北地区〉

令和 3 年 12 月 4 日 (土) に第 16 回東北育種研究集会 (運営委員長：高橋秀和) がオンラインで開催されました。今年度のプログラムは 2 部構成とし、第 1 部に日本育種学会 2021 年度秋季大会関連事業 市民公開シンポジ

ウム「地域貢献に果たす作物育種の成果」のパネルディスカッションが行われました。第2部は研究ポスター(18題)の発表が行われ、東北地区7県から64名の参加がありました。審査員7名の投票により優秀ポスター賞2題を選定し、オンラインで表彰しました。

P08-B 特殊な種分化したオーストラリアの野生イネ種の長粒性を支配する複合遺伝子座の遺伝解析

☆佐々木瞭太¹, 木崎裕道¹, 須永若菜¹, 片野航貴¹, 前田幸暉浩², 高橋龍成², 瀧山祐樹², 一谷勝之², 石川隆二¹ (1. 弘前大学農生, 2. 鹿児島大学農)

P15-C イネ穂発芽耐性 QTL・*Sdr6* 領域に2つ存在した *qSdr6a* と *qSdr6b* の候補遺伝子の同定

☆佐野舜一¹, 黄浚彦², 飯島信繁¹, 杉本和彦³, 星野友紀^{1,2} (1. 山形大院・農・生物資源, 2. 山形大学・農・食料生命環境, 3. 農研機構・次世代作物開研セ)

開催の詳細は以下の通りです。

1. 日時：令和3年12月4日(土) 13:00～17:15
2. オンラインアプリ：Zoom, Slack
3. プログラム

13:00 第1部 パネルディスカッション

14:30 第2部 ポスター発表

17:15 優秀ポスター賞表彰式・閉会

4. ポスター発表演題リスト (☆：優秀ポスター賞エントリー発表者, ○：発表者)

P01-A 遺伝子組換えイネを用いた抗菌ペプチドの生産
☆藤田岳, 米山裕, 伊藤幸博 (東北大・院・農)

P02-B ナタネ選抜系統の耐塩性及び塩蓄積性における二重能力の評価

☆朱星宇¹, 小林史佳², 山本雅也¹, 北柴大泰¹ (1. 東北大・院・農, 2. 東北大・農)

P03-C ミトコンドリア移行 TALEN 導入で再構成されたイネミトコンドリアゲノムの次世代シーケンス解析

☆高塚歩¹, 風間智彦², 有村慎一³, 鳥山欽哉¹ (1. 東北大・院・農, 2. 九州大・院・農, 3. 東大・院・農生命)

P04-A イネの雄性配偶子形成に必須な MYB 転写因子

☆高木駿弥¹, 村上若奈², 平塚理恵³, 櫻井健二², 渡辺明夫², 赤木宏守², 上田健治² (1. 秋県大・院・生物資源, 2. 秋県大・生物資源, 3. 慈恵医大・生物)

P05-B インディカ品種 Samba Mahsuri が持つ, CW 型細胞質雄性不稔性イネに対する新規稔性回復遺伝子のマッピング

☆稲田裕介¹, 高塚歩², 鳥山欽哉^{1,2} (1. 東北大・農, 2. 東北大・院・農)

P06-C MIG-seq によるカジノキ在来種の分類と個体群特異的マーカー開発

○石川隆二¹, 高島晶彦², 渋谷綾子² (1. 弘前大・農生, 2. 東京大・史料編纂所)

P07-A 稲わらの糖化性向上遺伝子の探索と細胞壁構造

調査

☆小野彩花, 伊藤叶裕, 阿部友美, 伊藤幸博 (東北大・院・農)

P08-B 特殊な種分化したオーストラリアの野生イネ種の長粒性を支配する複合遺伝子座の遺伝解析

☆佐々木瞭太¹, 木崎裕道¹, 須永若菜¹, 片野航貴¹, 前田幸暉浩², 高橋龍成², 瀧山祐樹², 一谷勝之², 石川隆二¹ (1. 弘前大学農生, 2. 鹿児島大学農)

P09-C 遺伝子組換えイネ培養細胞を用いた抗菌タンパク質リゾスタフィンの生産

☆大田原有咲, 田中浩貴, 小関美里, 米山裕, 伊藤幸博 (東北大・院・農)

P10-A 日本のネットメロンにおける可溶性固形物含量の変異

☆佐藤奈乃佳¹, 明石由香利², 石川隆二¹, 田中克典¹, 西田英隆², 加藤鎌司² (1. 弘前大・農生, 2. 岡山大・院環境生命)

P11-B The collection of novel *S* haplotypes from *Raphanus* landraces by multiplex PCR amplicon sequencing

☆A. Tian, T. Akanuma, T. Ishii, X. Shu, S. Miyashita, M. Yamamoto, and H. Kitashiba (Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University)

P12-C イネ *TPSI* 遺伝子の機能解析

☆本間大介¹, 岡崎桂一², 深井英吾² (1. 新潟大・農, 2. 新潟大院・自然科学)

P13-A 北海道のエゾゼンテイカと東北地方のニッコウキスゲ・トビシマカンゾウの系統関係の解明

☆玉川加奈¹, 佐藤結紀², 菅原翼³, 岸本誠司^{3,4}, 笹沼恒男^{1,2} (1. 山形大院・農, 2. 山形大・農, 3. 鳥海山飛鳥ジオパーク推進協議会, 4. 東北工業大・ライフデザイン)

P14-B ダイコン遺伝資源および突然変異集団が持つ DNA 変異の大規模解析の試み

○北柴大泰¹, 星川陽平¹, Tian Ainan¹, 宮下脩平¹, 山本雅也¹, Ji Jie¹, 村上哲也², 堀越英夫² (1. 東北大学農学研究科, 2. カネコ種苗(株))

P15-C イネ穂発芽耐性 QTL・*Sdr6* 領域に2つ存在した *qSdr6a* と *qSdr6b* の候補遺伝子の同定

☆佐野舜一¹, 黄浚彦², 飯島信繁¹, 杉本和彦³, 星野友紀^{1,2} (1. 山形大院・農・生物資源, 2. 山形大学・農・食料生命環境, 3. 農研機構・次世代作物開研セ)

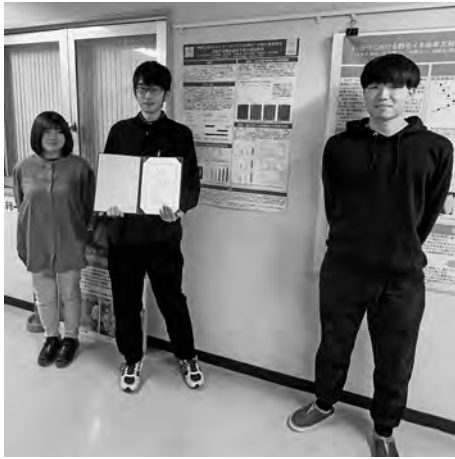
P16-A ゲノム編集によるブロッコリー *NON-YELLOW COLORING 1* 変異体の作出と解析

☆中村加菜江, 松田隆希, 殿崎薫, 畠山勝徳 (岩手大学・農)

P17-B リンドウの小孢子培養に関する研究

☆原絢女¹, 高村祐太郎², 殿崎薫¹, 畠山勝徳¹ (1. 岩手大・農, 2. 八幡平市花き研究開発センター)

P18-C 根こぶ病抵抗性遺伝子座 *CRk* の候補領域に見いだされた *NLR* 遺伝子の解析



佐々木瞭太氏



佐野舜一氏

☆Shen Fangqi¹, 清水元樹², 高橋美紗子¹, 殿崎薫¹, 畠山勝徳¹ (1. 岩手大・農, 2. 岩手生物工学研究センター)

〈北陸地区〉

令和3年度北陸作物・育種学会が、2021年11月18日にオンラインにて開催された。特別受賞講演1題および22題の一般講演が行われた。発表課題は以下の通りである。

(1) 受賞講演

北陸作物・育種学会賞 (功労賞)

水稻直播栽培における安定生産と雑草イネ防除に関わる技術開発 酒井長雄 (長野県農業試験場)

(2) 一般講演

1. コドラート法による水稻雑草発生量の簡易評価 大峽広智^{*1}・藤井義晴²・大川泰一郎², 中村哲也³ (1. 新潟県農業総合研究所, 2. 東京農工大学, 3. 有機米デザイン株式会社)

2. 長野県における2地点のアメダス気象データを利用した水稻「コシヒカリ」のDVI (発育指数) による出穂期予測 井ノ口明義^{*1}・田淵秀樹¹・酒井長雄²・丸山翔太²・谷口岳志³・岡部知恭⁴・平出有道⁵・近藤義彦⁶・小浜由彦⁷ (1. 長野県農政部農業技術課, 2. 農業試験場, 3. 松本農業農村支援センター, 4. 北アルプス農業農村支援センター, 5. 上伊那農業農村支援センター, 6. 北信農業農村支援センター, 7. 佐久農業農村支援センター)

3. 出穂前の低日射条件がイネの代謝関連遺伝子の発現に及ぼす影響 白矢武士^{*1}・丸山遥¹・太田沙由理²・土田轍^{1,3} (1. 新潟農総研, 2. 元新潟農総研, 3. 作物研)

4. 早期落水した場合の水稻の胴割れ粒発生に対するケイ酸施用の効果 渡部智寛^{1,2}・浅見秀則^{1,3}・伊藤豊彰^{*1,4} (1. 東北大学大学院農学研究科, 2. 農林水産省農村振興局, 3. 農研機構西日本農業研究センター, 4. 新潟食料農業大学)

5. 空撮画像による水稻生育診断方法の検討 藤田純代^{*}・土田政憲・酒井究 (福井県農業試験場)

6. ドローン空撮画像に基づいた水稻の倒伏評価 元川闘斗^{*1}・藤原洋一²・塚口直史² (1. 石川県立大学大学院生物資源環境学研究科, 2. 石川県立大学)

7. 水稻催芽種子を用いた湛水直播栽培における種子子措・播種深度・播種後水管理が苗立ちに及ぼす影響 宇野史生^{*}・島田雅博 (石川県農林総合研究センター)

8. 酒造好適米品種「石川酒68号」の施肥法の検討 宇野史生・中野知行^{*} (石川県農林総合研究センター)

9. オオムギの茎葉・子実二回収穫体系 Dual-purpose system 導入の検討 岡村夏海^{*}・澤田寛子 (農研機構中日本農業研究センター)

10. 積雪地で栽培したオオムギの積算気温による生育予測の検討 島崎由美^{*1}・関昌子¹・下田星児² (1. 農研機構中日本農業研究センター, 2. 農研機構北海道農業研究センター)

11. オオムギ種子のGABA, グルタミン酸含量の品種間差異 長嶺敬¹・中野友貴¹・青木秀之¹・関昌子¹・野方洋一² (1. 農研機構中日本農業研究センター, 2. 農研機構西日本農業研究センター)

12. もち性皮麦「ホワイトファイバー」の止葉展開期追肥量がβ-グルカン含量および硝子率に及ぼす影響について 上原泰^{*}・奥出聡美・青木政晴・酒井長雄 (長野県農業試験場)

13. 小麦「東山55号 (しろゆたか)」の播種時期がコムギ萎縮病の発病程度と収量・品質に及ぼす影響 丸山翔太^{*}・上原泰・土屋学・宮原薫・中島宏和・酒井長雄 (長野県農業試験場)

14. 豪雪地帯のオオムギ栽培における積雪日数が少ない年の施肥管理法の検討 吉藤昭紀^{*1}・牧野岳都² (1. 石川県農林総合研究センター, 2. 公益財団法人いしか

わ農業総合支援機構)

15. 基肥一発肥料を用いた大麦栽培における暖冬が生育と収量に及ぼす影響 山下建樹*1・吉藤昭紀¹・牧野岳都² (1. 石川県農林総合研究センター, 2. 公益財団法人いしかわ農業総合支援機構)

16. 品種育成におけるイネ墨黒穂病の検定方法に関する検討 石橋俊明*・板谷越重人・橋本憲明・松井崇晃・重山博信 (新潟県農業総合研究所作物研究センター)

17. 胴割れ耐性「強」品種の探索とその玄米形質について 小島洋一朗*・長岡令 (富山県農業研究所)

18. 化学変異原処理による出穂期および胚乳澱粉変異の選抜 中岡史裕*1・小林麻子¹・渡辺脩斗¹・両角悠作¹・町田芳恵¹・三浦孝太郎² (1. 福井県農業試験場, 2. 福井県立大学)

19. カドミウム低吸収性水稻品種「キヌヒカリ環1号」の育成 金達英*1・山口知哉²・梶亮太¹・前田英郎²・山口誠之³・松下景⁴・長岡一朗¹・笹原英樹⁵・黒木慎³・石川寛⁶・安部匡⁶ (1. 農研機構中日本農業研究センター, 2. 農林水産技術会議事務局, 3. 農研機構九州沖縄農業研究センター, 4. 農研機構作物研究部門, 5. 農研機構西日本農業研究センター, 6. 農研機構農業環境研究部門)

20. 水稻酒米品種「石川酒68号」の育成 中村啓二¹・猪野雅哉*1・小林大樹²・笹倉康弘²・野村央文³・廣田実央⁴・中道晶子⁵・松谷瑛⁶・橋本良一⁷・黒田晃⁷・小牧正子⁸・武田康一⁸ (1. 石川県農林総合研究センター, 2. 石川県農林水産部里山振興室, 3. 石川県農林水産部農業政策課, 4. 石川県東京事務所, 5. 石川県南加賀農林総合事務所, 6. 石川県奥能登農林総合事務所, 7. 元石川県石川農林総合事務所, 8. 元石川県農林総合研究センター)

21. 酒米品種「石川酒68号」および主食用米品種「石川65号」間の交雑後代における出穂関連遺伝子が消化性に及ぼす影響 高田茉莉奈*1・紺谷和博²・西川みなみ²・佐々木藍美¹・高木宏樹²・関根政美²・林美央¹・猪野雅哉¹ (1. 石川県農林総合研究センター農業試験場, 2. 石川県立大学)

22. CRISPR/Cas9法によるAGPaseノックアウトサツマイモの作出 松山純佳*・根本佳奈・藤井裕大・大谷基泰・中谷内修 (石川県立大学生物資源環境学部生産科学科)

(3) 総会

2022年11月1日付けで、北陸作物・育種学会の名称を北陸作物・育種談話会に変更すること、あわせて北陸作物学会会報の名称を北陸作物・育種研究に変更することを決議。

(4) 会報の刊行

2021年3月25日、北陸作物学会報第56号を刊行。

〈中部地区〉

第28回育種学会中部地区談話会が、2021年11月13日(土)にオンライン会議(名城大学)にて開催された。特別講演1題および21題の口頭発表がZoomによるオンラインで行われ、中部地域5県の大学・研究機関からの58名の参加者間で活発な質疑・意見が交わされた。また、一般講演については、参加者全員による投票で優秀口頭発表賞を選定し、4題に授与するなど、互いの成果をたたえ合いつつ盛況の内に幕を閉じた。

発表課題は以下の通りである。

特別講演：イネに耐水性を付与するガスフィルムという形質の分子遺伝学的解析
黒川裕介氏(名城大学農学部・生物資源学科作物学研究室・助教)

一般講演(オンライン口頭発表)

1. チャ(茶樹: *Camellia sinensis*)の二次胚形成における植物ホルモンの影響

○谷口洲五¹・古川一実² (1. 沼津工業高等専門学校専攻科, 2. 沼津工業高等専門学校物質工学科)

2. チャ不定胚培養におけるアルミニウム添加の有効性調査

○落合崇人・古川一実(沼津工業高等専門学校物質工学科)

3. 緑茶品種への高不定胚形成能の導入の試みおよび培地条件の検討

○後藤彩那¹・谷口洲五²・大久保日奈³ (1. 沼津工業高等専門学校物質工学科, 2. 沼津工業高等専門学校専攻科, 3. 筑波大学生物資源学類)

4. チャ染色体の fluorescence *in situ* hybridization プローブとしての SSR マーカーの検討

○山田あかり¹・青島千恵理²・古川一実¹ (1. 沼津工業高等専門学校物質工学科, 2. 沼津工業高等専門学校専攻科)

5. Fluorescence *in situ* hybridization によるツバキ染色体識別のためのユニバーサルプローブの検討

○田代莉乃¹・古川一実² (1. 沼津工業高等専門学校物質工学科, 2. 沼津工業高等専門学校専攻)

6. ソルガム F1 品種「天高」の部分的な超優性効果について

○橋本舜平¹・中村(荒木)聡子²・篠原(大前)梢²・菊池樹³・三浦孝太郎⁴・川口秀夫⁵・春日重光⁶・佐塚隆志² (1. 名大院生命農学, 2. 名大生物機能開発研究センター, 3. 名大農, 4. 福井県大生物資源, 5. 神戸大院科学技術イノベ, 6. 信州大学術研究院)

7. ダイズの二次通気組織形成におけるペプチドホルモンを介した制御

○長谷川史果・馬場唯菜・中園幹生・高橋宏和(名大院生命農)



ポスター賞受賞者

左から山田竜寛氏（名古屋大学院）、手塚拓海氏（総研大）、細井早菜子氏（岐阜大学）、平海水緒氏（岐阜大学）

8. コムギ5品種を用いた耐湿性の評価
○山田竜寛¹・渥美紗綾¹・荒川みずほ²・太田自由²・高橋宏和¹・中園幹生¹ (1. 名大院生命農, 2. 愛知県農総試)
9. トビイロウンカ抵抗性遺伝子 *bph11* および縞葉枯病抵抗性遺伝子 *Stvb-i* をそれぞれ持つコシヒカリの同質遺伝子系統の育成
○森寛之・富田因則・徳山諒太郎・竹谷友希（静岡大学グリーン科学技術研究所）
10. イネの胚発生における背腹軸形成機構の解明に向けたオーキシン動態の解析
○手塚拓海¹・Kim Nhung Ta²・佐藤（志水）佐江²・野坂実鈴^{1,2}・鈴木俊哉^{1,2}・佐藤豊^{1,2} (1. 総研大生命科学, 2. 遺伝研植物遺伝)
11. Rice grain yield prediction using vegetation indices from pre-heading growth stage.
○BASCON, Maria・Victoria Rabaca・Nishiuchi, Shunsaku (名大院生命農)
12. 画像解析を用いた小麦穀粒の形質評価手法の開発
○井上駿・西内俊策（名大院生命農）
13. UAV 空撮画像を用いた日本稲の穂数推定手法の開発
○加藤優介・西内俊策（名大院生命農）
14. UAV による圃場キャベツの形質評価手法の検討
○小林七海・西内俊策（名大院生命農）
15. バスマティイネの耐冷性改善のための遺伝解析
○黒木隆一・V.P. Reyes・A.D. Mabreja・西内俊策・土井一行（名大院生命農）
16. 衛星データを用いた小麦の茎立ち期における NDVI の推定
○高田樹・西内俊策（名大院・生命農）
17. UAV 搭載マルチスペクトルカメラを用いた高収量性ソルガムのバイオマス推定技術の開発
○中田智大・西内俊策（名大院・生命農）
18. マルチスペクトルカメラを用いたイネの品種分類の試み
○柴田悟志¹・西内俊策² (1. 名大農, 2. 生命農)
19. 乾燥ストレスに対するイネの根の可塑性の遺伝解析
○松山恵美子¹・黒木隆一²・西内俊策²・土井一行² (1. 名大農, 2. 名大院生命農)
20. コムギ近縁野生種 *Aegilops longissima* と *Ae. sharonensis*

における側芽抑制遺伝子候補 C2H2-ZF gene の塩基多型解析および発現解析

- 細井早菜子¹・富田淳¹・村川未果¹・前田麻友子¹・山根京子¹・太田敦士² (1. 岐大応生, 2. 京大院農)
21. ワサビの地上部形態と辛味関連成分の季節変化
○平海水緒¹・羽賀夏子¹・高島茂雄²・山根京子¹ (1. 岐大応生, 2. 岐大ゲノム)

〈中国地区〉

2021年12月11日（土）、第13回中国地域育種談話会がオンラインで開催された（大会委員長：農研機構西日本農業研究センター・伊藤美環子）。参加人数は61名、口頭発表2題、ポスター発表17題であった。泉谷真（O2）、中川里穂（P01）、和田朋美（P05）、福嶋七海（P11）の4名に優秀発表賞が授与された。次回の第14回中国地域育種談話会は山口大学の妻鹿良亮氏を大会委員長として開催されることになった。本大会はオンラインによる開催であったことから、四国談話会からの参加も募り、1名の口頭発表があった。

【開催概要】

開催日時：2021年12月11日10時30分～15時30分
場所：オンライン（農研機構西日本農業研究センター）

【プログラム概要】

開会挨拶（伊藤美環子）
口頭発表 O1・O2（座長 福永健二）
ポスター発表者によるフラッシュトーク
ポスター発表
閉会

【口頭発表】

- O01 介護食用の軟飯に好適な品種候補の育成及び物性試験。○上向井美佐¹・隅田有公子²・島田郁子²・村井正之³ (1. 高知大学, 2. 高知県立大学健康栄養学部, 3. 高知大学名誉教授)
- O02 サツマイモネコブセンチュウ抵抗性に関与する新規候補遺伝子の同定と原因変異の探索。☆泉谷真¹・大畑慎一郎¹・田淵宏朗²・門田有希¹ (1. 岡山大院・環境生命科学, 2. 農研機構・九州沖縄農業研究センター)

【ポスター発表】

- P01 オオムギ *Vrs1* 遺伝子の発現を制御する因子の同定. ○中川里穂・佐久間俊 (鳥取大学農学部)
- P02 自家受粉を繰り返したライムギの形態比較. ○森田美波・田中裕之・佐久間俊 (鳥取大学農学部)
- P03 アジアの高アミロースパンコムギが持つ可溶性デンプン合成酵素 *IIa* 型遺伝子の新規変異探索. ○岡保賢士¹・田中悠¹・田中裕之² (1. 鳥取大院・持続性社会創生科学, 2. 鳥取大・農)
- P04 成熟途上種子における乾燥ストレスが及ぼす分子的影響の解析. ○妻鹿良亮¹・石井孝佳²・田中裕之³・安部史高⁴・岡本昌憲⁵ (1. 山口大・院創成科学, 2. 鳥取大乾燥地研, 3. 鳥取大農学部, 4. 農研機構・作物研究部門, 5. 宇都宮大・院バイオ)
- P05 カロテノイド高蓄積ネギ系統の乾燥ストレス耐性評価. ○和田朋美¹・執行正義^{1,2}・妻鹿良亮^{1,2} (1. 山口大・農学部生物資源環境科学, 2. 山口大・院創成科学)
- P06 QTL-seq と DNA マーカーによるアワのサルデ遺伝子の探索. ○滝口央基¹・齋藤佑真¹・阿部陽²・福永健二¹ (1. 県立広島大・生命環境学部, 2. 岩手生工研)
- P07 アワの葉鞘色に関わる *C* 遺伝子の異なるトランスポゾン挿入型の地理的分布. ○辻誠也¹・松山さらさ¹・阿部陽²・福永健二¹ (1. 県立広島大・生命環境学部, 2. 岩手生工研)
- P08 植物病原性糸状菌に存在する CD 染色体の進化的起源の解明. ○大石好則¹・播本佳明²・八田理恵子²・新城明久²・張裕介²・間瀬千晶²・原歩美²・川瀬めぐみ²・近藤日佳理²・後藤千保²・宮川泰輝²・鈴木侑美²・森汐理²・赤木靖典³・児玉基一郎³・秋光和也⁴・山本幹博⁵・柘植尚志^{2,6}・花田耕介¹ (1. 九州工業大, 2. 名古屋大, 3. 鳥取大, 4. 香川大, 5. 岡山大, 6. 現中部大)
- P09 コムギ品種 *Blackhull* の早生, 極早生変異の原因遺伝子は *PCL1* である. ○藤岡明雅¹・十河奈々¹・仁科友希²・西田英隆²・加藤鎌司² (1. 岡山大・農, 2. 岡山大院環境生命)
- P10 コムギ系統「超極早生」が保有する「ミナミノコムギ」由来早生遺伝子の解析. ○寺尾優太・西田英隆・加藤鎌司 (岡山大院環境生命)
- P11 オオムギにおいて 3H と 4H 染色体に見いだされた匍匐性 QTL の遺伝解析. ○福嶋七海・下戸航平・西田英隆・加藤鎌司 (岡山大院環境生命)
- P12 モルディブで採集されたメロン系統は野生種 *C. callosus* か? ○十河奈々¹・Odirichi Nnennaya IMO²・長井朋美²・嶋田玄太郎³・田中克典⁴・西田英隆²・加藤鎌司² (1. 岡山大・農, 2. 岡山大・院環境生命, 3. ミュンヘン工科大, 4. 弘前大農生命)
- P13 オオムギの 4H 及び 5H 染色体に座乗する新規出穂期関連 QTL の遺伝解析. ○大熊眞歩¹・阿辻佳人¹・西田英隆²・加藤鎌司² (1. 岡山大・農, 2. 岡山大院環境生命)
- P14 メロンで開発された遺伝子特異的 PCR マーカーの *Cucumis* 属野生種への応用. ○長井朋美¹・Odirichi Nnennaya IMO¹・田中克典²・西田英隆¹・加藤鎌司¹ (1. 岡大院環境生命, 2. 弘前大農生命)
- P15 サツマイモ澱粉の低温糊化性に関する原因変異の特定に向けた配列解析. ○志茂暉月¹・多田健太郎²・田中勝³・小林晃³・門田有希² (1. 岡山大・農, 2. 岡山大・院環境生命科学, 3. 農研機構・九沖農研)
- P16 倍数体用 GWAS 法を利用した線虫抵抗性遺伝子座の同定と比較ゲノム解析. ○栗原未結¹・田淵宏朗²・



優秀発表賞受賞者

上段左から, 和田朋美氏, 福嶋七海氏, 下段左から, 中川里穂氏, 泉谷真氏

白澤健太³・門田有希⁴ (1. 岡山大・農, 2). 農研機構・九州農研, 3. かずさDNA研, 4. 岡山大・院環境生命科学)

P17 BCM と GLK によるレタスのクロロフィル量の調節. ○伊藤岳・山谷浩史・信澤岳・草場信 (広島大)

〈九州・沖縄地区〉

第16回日本育種学会九州沖縄育種談話会が、2021年11月27日(土)13:00~17:30にオンラインで開催された(運営委員長 久保貴彦). 本談話会では、招待講演者4名と参加者54名の合計58名が参加し、講演内容等について活発な意見交換が行われた. また一般参加によるポスター発表では、参加者による投票で以下の2題のポスター発表が表彰された.

〈最優秀発表賞〉

P10. ☆馬場海希¹, 山形悦透², 安井秀², 鄭紹輝¹, 藤田大輔¹ (1. 佐賀大農, 2. 九大院農) *O. glaberrima* 染色体部分置換系統群を用いたトビロウカ抵抗性遺伝子の推定

〈優秀発表賞〉

P04. ☆前田幸暉浩, ☆高橋龍成, 一谷勝之 (鹿児島大学農学部植物育種学研究室) 籾数の限界を目指して, パケツイネ選手権への取り組み2021

発表演題は以下のとおり.

〈招待講演〉

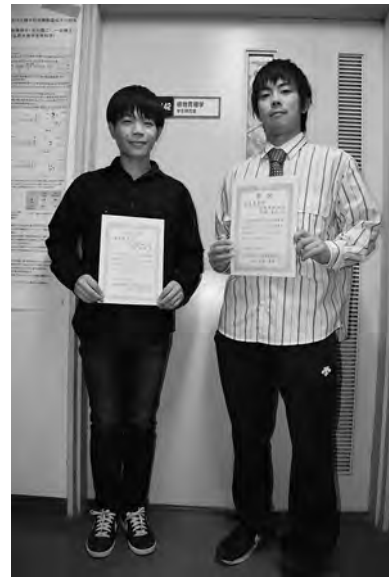
- O1. 濱岡範光 (九州大学大学院農学研究院) ヤムイモにおける塊茎の形成肥大・品質を司る因子を探る
- O2. 木下剛仁 (佐賀県農業試験研究センター) イチゴ新品種「佐賀i9号(いちごさん)」の育成
- O3. 中村哲洋 (九州大学大学院農学研究院) 進化の系譜から考える, イネ胚乳の特性と育種的展望
- O4. 原口雄飛 (福岡県農林業総合試験場) 実需者ニーズに応じて育成したビール大麦新品種「はるさやか」

〈ポスター発表〉

- P01. ☆稲田那菜, 山形悦透, 安井秀 (九州大学大学院・農学研究院) 海水を用いた土耕栽培によるイネ耐塩性評価法の改善
- P02. ☆Shameel Shah, Hiroaki Tsuneyoshi, Katsuyuki Ichitani and Satoru Taura (Graduate School of Agriculture Science Forestry and Fisheries, Kagoshima University) QTL analysis related to lesion length elongation to *Xanthomonas oryzae* pv. *oryzae* pathogen in rice variety Koshihikari
- P03. ☆河田倫典, 安井秀, 山形悦透 (九州大学大学院・農学研究院) 染色体5に検出されたF₁花粉不稔関連QTLにおける *Oryza glumaepatula* 種内の変異
- P04. ☆前田幸暉浩, ☆高橋龍成, 一谷勝之 (鹿児島大学農学部植物育種学研究室) 籾数の限界を目指して, パ



最優秀発表賞受賞者
馬場海希氏



優秀発表賞受賞者 (共同受賞)
前田幸暉浩氏, 高橋龍成氏

ケツイネ選手権への取り組み2021

- P05. ☆瀧山祐樹¹, 田浦悟², 一谷勝之³ (1. 鹿児島大学 農林水産学研究科植物育種学研究分野, 2. 鹿児島大学 遺伝子実験施設, 3. 鹿児島大学 農学部植物育種学研究分野) イオンビーム照射によって誘発されたイネ白葉枯病新規抵抗性系統の作出
- P06. ☆Thein Lin, Tetsuhiro Nakamura, Toshihiro Kumamaru, and Takahiko Kubo (Plant Genetic Laboratory, Faculty of Agriculture, Kyushu University) Identification of a causal gene controlling floury endosperm in rice
- P07. ☆Thi Le Ha Nguyen^{1,2}, Shizuka Suetsugu², Yuna Nakamura², Zita Demeter², Shao Hui Zheng², Daisuke Fujita² (1. United graduate school of Kagoshima University, 2. Saga

University) Substitution mapping of QTLs on chromosomes 5 and 6 for vascular bundle number at the panicle neck in rice (*Oryza sativa* L.)

P08. ☆Md Mostofa Kamal^{1,2}, Nguyen Dinh Cuong¹, Shao Hui Zheng¹, Daisuke Fujita¹ (1. Faculty of Agriculture, Saga University, 2. United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University) Development and evaluation of near-isogenic lines (NILs) for brown planthopper resistance using indica elite cultivar IR64 as genetic background

P09. ○Saw Bo Day Shar^{1,2}, Cuong Dinh Nguyen¹, Shao-Hui Zheng¹, Daisuke Fujita¹ (1. Faculty of Agriculture, Saga University, 2. The United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University) Development and characterization of near-isogenic lines (NILs) carrying brown planthopper resistance genes using Japonica rice cultivar, Sagabiyori

P10. ☆馬場海希¹, 山形悦透², 安井秀², 鄭紹輝¹, 藤田大輔¹ (1. 佐賀大農, 2. 九大院農) *O. glaberrima* 染色体部分置換系統群を用いたトビイロウンカ抵抗性遺伝子の推定

P11. ☆二宮孝修, Nguyen Thi Le Ha, 鄭紹輝, 藤田大輔 (佐大農) イネの穂首維管束数に関する遺伝子座 *qVBN11* の置換マッピング

P12. ☆奥野元輝¹, 増田優¹, 村田達郎², 松田靖¹ (1. 東海大学大学院農学研究科, 2. 東海大学基盤工学部) γ 線照射したヤーコン品種“アンデスの乙女”のM2世代における特性評価

P13. ☆後藤光¹, 増田優¹, 村田達郎², 松田靖¹ (1. 東海大学大学院農学研究科, 2. 東海大学基盤工学部) *Zoysia* 属種の品種登録候補系統における特性評価

日本育種学会会員異動 (2021.10.21~2022.04.20)

◇普通会員入会：佐藤圭, 高橋春南 (北海道), 奥聡史,

夏目俊 (岩手県), 笹谷絵梨 (秋田県), 菅波真央 (福島県), 池上美里, 清古貴 (茨城県), 沖山毅 (栃木県), 柴村明宏 (群馬県), 片野和馬 (東京都), 市川雅子 (静岡県), 鈴木実 (三重県), 岡本俊介 (滋賀県), 小林邦彦 (京都府), 篠木佑 (兵庫県), UBI BENJAMIN EWA (鳥取県)

◇学生会員入会：岡大晴, 岡本紗奈, 高光明佳, BALIMPONNYA ELIASGEORGE, KACHAPILA MODESTER TAKONDWA (北海道), 佐々木瞭太 (青森県), 石井朝子 (宮城県), 大依宇 (秋田県), 玉川加奈 (山形県), 神永優作, 坂本恵華 (茨城県), WENG YUANJIE, 佐藤佑樹, 嶋崎太一 (栃木県), 池部洸太, 佐藤直之 (千葉県), 稲葉菜月, 崔金瑩, 廣瀬航, PUTRAWISESA NICHOLAS, 牧野葵 (東京都), 岡田脩平, 野原大知 (神奈川県), 小林壮生, 杉田和陽, 平野羽留 (福井県), 平海水緒, 細井早菜子 (岐阜県), 青島千恵理, 落合崇人, 平田洲五 (静岡県), 伊藤拓摩, 柴田悟志, 高田樹, 中田智大 (愛知県), 阪口航輔 (京都府), 永井翔大 (大阪府), 作田幹樹 (兵庫県), 塚田美彩子 (鳥取県), 大熊眞歩, 志茂暉月, 十河奈々, 藤岡明雅, 堀内綾乃 (岡山県), LIN THEIN (福岡県), パクヒョンジュン, PONGPIYAPAIBOON SORAWICH (宮崎県)

住所変更等

◇普通会員：森下敏和 (北海道), 根角博久 (岩手県), 松下景, 宮崎和弘 (茨城県), 今瀬諒司 (栃木県), 田部井豊, 山谷浩史 (群馬県), 京谷英壽, 平賀勲, 三村真生 (東京都), 山崎将紀 (新潟県), 西嶋遼 (福井県), 山下寛人 (静岡県), 角井宏行 (京都府), 中野道治 (高知県), 穴井豊昭 (福岡県), 小林伸哉 (沖縄県)

◇学生会員：松尾宏樹 (京都府), 松永幸子 (鳥取県)